



給食だより 9月号



運動会やサツマイモ掘りなど、秋は子どもたちが楽しみにしている行事が盛りだくさんです。行事を体験することで、子どもの成長を感じられることも多いと思います。それらの行事を楽しむためにも、早寝・早起き・朝ごはんを心がけ、毎日の生活リズムを整えましょう。

また実りの秋、食欲の秋でもあります。一年中で一番食べ物のおいしい季節です。子どもの頃から食べ物の旬を知り、旬の恵みを味わうことは、豊かな感性や味覚形成にとっても重要なことです。毎日の食卓に旬の食材をとり入れ、話題も豊かな楽しい時間を過ごしたいですね。



今年のお月見は 9月17日

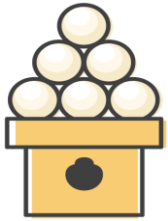
中秋の名月「お月見」



中秋の名月を「十五夜」ともいいます。

十五夜は、秋の美しい月を見ながら収穫に感謝する日といわれ、十五夜には、15個のお団子をお供えます。お月様の見えるところにお団子と、秋に収穫される果物やすすきを供えて、感謝と祈りを捧げましょう。

旧暦では7月・8月・9月を秋として、真ん中の8月を「仲秋」といい、さらに真ん中となる8月15日を「中秋」ということから、旧暦8月15日の十五夜を「中秋の名月」といいます。



お月見のお供えもの
(おだんご、すすき、収穫した野菜・果物)



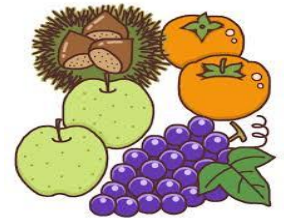
★お団子 は地域によって違う？！

関東では丸型の団子が、関西では先細りの餅に餡を巻いたものが用いられます。十五夜が芋名月とも呼ばれるのは、この時季多く収穫される里芋をお供えするからで、餡が巻かれた団子はこの里芋を模ったものです。



★なぜすすきを供えるの？

中秋の名月は、もともと収穫を感謝して祝う行事です。この時期にまだ稲穂が収穫されていないので、稲穂に似ているすすきがお供えされるようになりました。
・すすきは神様の依り代ともいわれています。
・すすきは切り口が鋭い事から魔除けになるとされています。
悪霊や災いを除け、豊作を願う思いが込められているんですよ。



★収穫に感謝し、旬の野菜や果物を供えます。
葡萄などのツルものは、月と人との繋がりが強くなるという縁起のいいお供えものです。



お月様にはなにが見えるの？



日本ではお月様のクレーターの影がうさぎに見えることから月にはうさぎがいるというお話があります。月は地球に向けて常に同じ面を向けて回っていますが世界の国ではどんなふうにお月様の影が見えるのでしょうか？



- 日本：餅をつくうさぎ
- カナダ：バケツを運ぶ少女
- 北ヨーロッパ：本を読むおばあさん
- 南ヨーロッパ：大きなはざみのカニ
- 東ヨーロッパ：女性の横顔
- アラビア：ライオン
- ドイツ：薪をかつぐ男



皆さんにはどんなふうにお月様の影が見えるのでしょうか？
満月の日には空を見上げてみませんか